週間情報

№0304（2月9日休刊）
発行日　令和3年2月2日
発行所　全国消防長会
　　一般財団法人全国消防協会
担　当　企画部企画課　03(3234)1321

消防本部の動き

行　　事

◆　消防職員意見発表会を開催

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和３年１月１３日（水)、消防職員意見発表会を開催しました。当意見発表会は、消防職員として必要な表現力や問題解決能力等の向上を図ることを目的に実施したもので、各所属の代表者１６名が日常の消防業務で感じたことや市民への思いなどを発表しました。

同日、発表者の中から７名を表彰しました。またそのうち、性別にとらわれず一人一人が持つ長所を生かす考え方を述べた「ジェンダーフリーの意識」、救急訓練動画を配信した反響からその有用性を訴えた「新しい訓練様式を！」を発表した職員２名を、当消防局の代表として滋賀県消防職員意見発表会に出場させることとなりました。

今後も、積極的に職員の意見に耳を傾け、より良い組織づくりに努めてまいります。

【意見発表会の様子】

【表彰を受けた７名】

訓練・演習

◆　解体庁舎を利用してショアリング訓練を実施

白河地方広域市町村圏消防本部（福島）

白河地方広域市町村圏消防本部では、令和３年１月１０日（日)、解体予定の白河消防署西郷分署旧庁舎を利用してショアリング訓練を実施しました。

当日は、地震等の災害が発生したとの想定で、建物内の危険箇所の評価を行ったほか、建物内に取り残された要救助者を救出するために、窓や天井等の開口部を利用したスポットショア、ウィンドウ・ドアショアの訓練を実施しました。訓練は、３班に分かれて実施し、災害現場で使用する資機材や個人装備の確認のほか、現状での課題を確認することが出来ました。

当消防本部では、今年度中に４つの庁舎の解体を予定していることから、これらの庁舎を利用して継続的に訓練を実施し、あらゆる災害に対応できるように努めてまいります。

【訓練の様子】

◆　米陸軍消防隊と合同訓練を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では令和３年１月１２日（火）から１４日（木）までの３日間、米陸軍沖縄基地管理本部緊急業務局消防隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、「那覇市及び在日米陸軍との消防相互援助協約」に基づき、火災及びその他の災害が発生した場合の相互援助を安全・確実・迅速に実施するために消防戦術の共有を図るとともに、災害対応体制の一層の円滑化を図る目的で行ったものです。当日は、米陸軍消防隊が保有する訓練施設（フラッシュオーバートレーナー）を使用して実火災体験型訓練を実施しました。

訓練を通じてお互いの技術・知識の共有を図り、緊密な関係を築くことができました。今後も継続的に訓練を積み重ねてさらなる連携強化に努めてまいります。

【訓練の様子】

研　修　等

◆　令和２年度職員ハラスメント防止研修会をリモートで実施

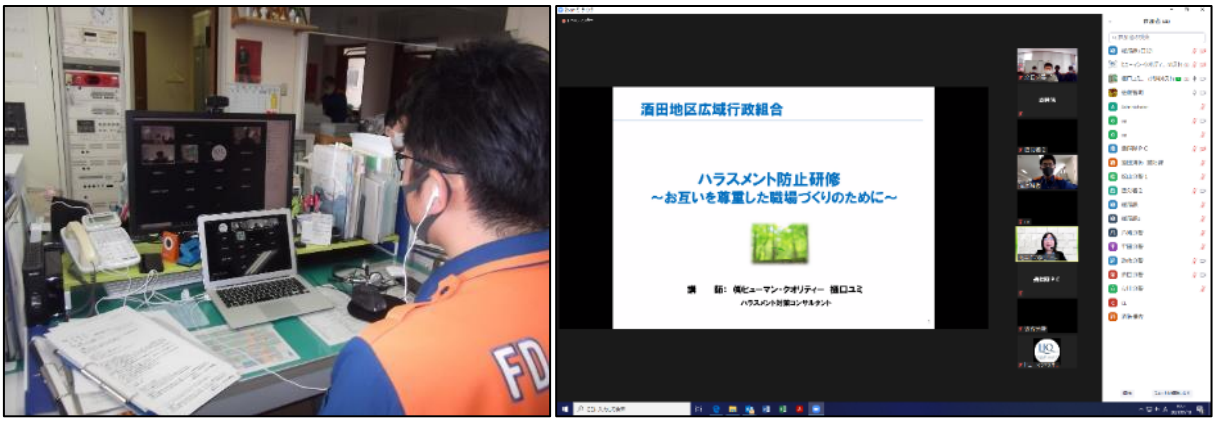
酒田地区広域行政組合消防本部（山形）

酒田地区広域行政組合消防本部では、令和３年１月１３日（水）、１８日（月）の２日間、全職員を対象としたハラスメント防止研修会を実施しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、全職員対象の研修では組合初となるリモートでの開催としました。

ハラスメント対策コンサルタントで株式会社ヒューマン・クオリティ代表取締役の樋口ユミ氏を講師として、パワーハラスメントやセクシャルハラスメントをはじめ、多く存在するハラスメントについて学び、理解と知識を深めることができました。

受講中に災害出動する部隊などもありましたが、講義終了後は各署と講師の間で音声やチャット形式での質疑が活発に交わされ、大変有意義な研修となりました。ライブでの参加ができなかった職員は後日、録画したもので受講する予定です。

ハラスメントのない職場や組織づくりのため、一人ひとりがハラスメントをしない行動を考えて自らの行動を振り返ることで、今後のハラスメント防止につながる研修会となりました。



【研修会の様子】

そ　の　他

◆　自主防災組織用可搬式動力ポンプに操作方法説明動画のＱＲコードステッカーを貼付

八尾市消防本部（大阪）

八尾市消防本部では、令和３年１月８日（金）、市内の耐震性防火水槽に設置する自主防災組織用可搬式動力ポンプ（９９基）に操作方法説明動画のＱＲコードステッカーの貼付を完了しました。

これは、令和２年６月、八尾市公式ＹｏｕＴｕｂｅに掲載した消防本部の自主作成動画「ＷＥＢ自主防災　可搬式動力ポンプ操作編」にリンクするＱＲコードと説明文をマグネットステッカーに印刷して貼り付けたものです。これにより、大規模災害発生時の使用や自主防災組織が訓練を行う際に、スマートフォンなどからその場で操作要領の動画を視聴することが可能となりました。

従来は、ＱＲコードを載せたチラシを印刷して配布していたのですが、市民からの強い要望により試作を行ったことで実現に至り、市民の皆様からも好評を得ています。

【ＱＲコードの読み込みイメージ】

【マグネットステッカー本体と動画のひとコマ】

【動画ＱＲコード】

◆　消防活動協力者に感謝状を贈呈

日向市消防本部（宮崎）

日向市消防本部では、令和３年１月１５日（金）、消防活動協力者表彰を行いました。

この事案は、令和２年１２月１２日（土）、管内で発生した一般住宅の建物火災において、２階に取り残された住人２名を、近隣住民６名が協力して持ち寄った布団に飛び降りさせ、救出・救護したものです。消防隊到着時には、建物全体から火炎が噴出しており、近隣住民の活動が行われていなければ大惨事となる可能性が高い火災でした。

救出時は、建物周囲も火災による煙と熱に包まれて危険な状態でしたが、日頃から顔の見える関係にあった近隣住民の勇気ある行動が迅速な人命救助につながりました。その功績を称え、感謝状と記念品を贈呈しました。

【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆　消防協力者へ感謝状を贈呈

防府市消防本部（山口）

【感謝状贈呈後の記念撮影】

防府市消防本部では、令和３年１月１６日（土）、消防協力者に対し、感謝状を贈呈しました。

当事案は、令和２年１２月２１日（月）に発生した建物火災において、近隣住民４名が、消防隊到着前に、逃げ遅れて２階の窓から顔を出していた高齢男性を発見し、近くにあった脚立を利用して救出するとともに、隣接する住宅のドア等を叩くなどして住民に火災を知らせて避難させるなど、協力して活動を行ったものです。危険を顧みずに行った迅速な活動により、尊い命が救われました。

◆　「“ただいま”の約束～何気ない日常にある幸せ～」動画を配信

市原市消防局（千葉）

市原市消防局では、令和３年１月１７日（日）、動画を配信しました。

この動画は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、同日に挙行予定であった出初式が中止となったことから、新年を迎えて少しでも明るい話題を発信したいという思いで職員が企画・撮影・編集して配信したものです。

「安心・安全なまち いちはら」をアピールするとともに、当たり前に毎日を過ごすことの尊さを考えさせられる内容となっています。

動画は市原市消防局Ｉｎｓｔａｇｒａｍ及び市原市公式ＹｏｕＴｕｂｅにて配信していますので、ぜひご覧ください。

【市原市消防局Ｉｎｓｔａｇｒａｍはこちら↑】

【市原市公式ＹｏｕＴｕｂｅはこちら↑】

【動画のひとコマ】

【空撮による映像の例】

◆　一宮市消防音楽隊定期演奏会を公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルで限定公開

一宮市消防本部（愛知）

一宮市消防本部では、令和３年１月１８日（月）、第４２回一宮市消防音楽隊定期演奏会（令和２年１１月８日（日）実施）の様子を一宮市消防本部公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルに公開しました。

当日は、俳優の石丸幹二さんをゲストに迎えて演奏会を開催しました。令和３年２月１２日（金）１７時までの期間限定で公開していますので、ぜひご覧ください。

一宮市消防本部公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCtjVU4awPL1SIsAmarVtRtg

【演奏会の様子】

国 等 の 動 き

消防庁通知等

◆　除雪作業中の事故防止に向けた注意喚起等について

（事務連絡、令和３年１月１８日）

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対処担当）付、参事官（普及啓発・連携担当）　付、消防庁国民保護・防災部防災課から各都道府県危機管理・防災担当主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

防災行政の推進につきましては、日頃から格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年 12 月から、各地で大雪に見舞われており、多くの地点で平年の積雪深を大きく上回っております。この結果、今冬の雪による死者数は 63 名（令和３年１月 15 日現在速報値）となっており、近年で最多であった平成 29 年冬の同時期を上回っております（別紙１参照）。地方公共団体からの報告によると、このうち相当数が除雪作業に起因するものです。（別紙１省略）

―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210118jimurennraku.pdf）に掲載されています。

【連絡先】
（大雪の被害に関すること）
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（災害緊急事態対処担当）付
担当：福田、斎藤、箭内 、03-3501-5695（直通）
（中央防災会議通知、注意喚起等に関すること）
参事官（普及啓発・連携担当）付
担当：諸留、脇田、03-3502-6983（直通）
（大雪の被害（速報値）に関すること、
国と地方公共団体の連絡に関すること）
消防庁国民保護・防災部防災課
担当：舘野、飯田、03-5253-7525（直通）

◆　「大規模倉庫における消防活動支援対策ガイドライン」等を参考に防火安全対策を講じた大規模倉庫の事例について（情報共有）　（事務連絡、令和３年１月１８日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

「大規模倉庫における消防活動支援対策ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）については、「平成 29 年２月に埼玉県三芳町で発生した火災を踏まえた対応について」（平成 30 年３月 27 日付け事務連絡）により、「埼玉県三芳町倉庫火災を踏まえた防火対策及び消防活動のあり方に関する検討会」における提言や「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件（昭和 48 年建設省告示第 2563 号）」（以下「国交省告示」という。）等の趣旨を踏まえ、貴機関において関係団体からの相談等に御対応をいただいているところです。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210118_yobou_jimu1.pdf）に掲載されています。

消防庁予防課設備係
担当：羽田野、笠松
電話：03-5253-7523
ＦＡＸ：03-5253-7533

◆　鳥インフルエンザ発生への対応について（お知らせ）
（事務連絡、令和３年１月１９日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

これまで、高病原性鳥インフルエンザの発生事例について、都度情報提供をしてきたところです。特に家きんにおいては、今シーズン、昨年 11 月上旬に香川県での発生が確認されて以来、これまで約２か月半の間に 15 県 36 か所の農場で発生が確認され、既に発生件数、殺処分数ともに過去最大となっていること等を踏まえ、政府では、本日、鳥インフルエンザ関係閣僚会議を開催し、引き続き関係府省庁が緊密に連携して、政府一丸となって対応に取り組む方針を確認しました。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210119_kyuuki_01.pdf）に掲載されています。

（連絡先）
消防庁救急企画室
TEL：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532
担当：小塩専門官、増田係長、冨樫主査

◆　「消防法施行規則第四条の二の四第一項ただし書及び第三十一条の六第四項の規定に基づき、消防庁長官が定める事由及び期間を定める件」の公布・施行について

（消防予第１７号、令和３年１月２２日）

消防庁次長から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

「消防法施行規則第四条の二の四第一項ただし書及び第三十一条の六第四項の規定に基づき、消防庁長官が定める事由及び期間を定める件」（令和３年消防庁告示第３号）が、令和３年１月22 日に公布・施行されました。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210122_yobou_17.pdf）に掲載されています。

（連絡先）
消防庁予防課
担当：桑折課長補佐、
　　五味事務官
TEL 03-5253-7523

◆　消防庁の令和３年度当初予算案、令和２年度第３次補正予算案及び令和３年度の消防防災に関する地方財政措置の見通しを踏まえた留意事項について

（事務連絡、令和３年１月２２日）

消防庁総務課から各都道府県消防・防災主管部局、各指定都市消防・防災主管部局あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

政府の令和３年度当初予算案につきましては令和２年 12 月 21 日、令和２年度第３次補正予算案につきましては同月 15 日にそれぞれ閣議決定されたところです。また、「防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策」を同月 11 日に閣議決定し、激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策などについて、令和７年度までの５か年に追加的に必要となる事業規模等を定め、重点的・集中的に対策を講ずることとされました。
―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ
（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/cdbc67c8d4464c4ebfd1dd9235e7c6bace345c0e.pdf）に掲載されています。

◆　新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置の適用期限の延長について（情報提供）

（事務連絡、令和３年１月２５日）

消防庁消防・救急課から各都道府県消防防災主管部（局）、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

総務省から別添のとおり通知を行っておりますので、情報提供させていただきます。（別添省略）

各都道府県におかれては、貴都道府県内の消防本部に対してもこの旨を周知いただきますようお願いいたします。

―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/210122_yobou_17.pdf）に掲載されています。

連絡先
消防庁消防・救急課 阿部、永峯、若杉
電 話：03-5253-7522
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

報道発表

◆　「消防指令システムの高度化等に向けた検討会」の開催

（令和３年１月２０日、消防庁）

消防指令システムについて、近年のICT進展を踏まえたシステム環境整備を進めるため、「消防指令システムの高度化等に向けた検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。

―以下省略―

○　全文は、消防庁ホームページ（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/210120_boujyo_1.pdf）に掲載されています。

【連絡先】
消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室
担　当：中村、淺井、中川、田中
電　話：03-5253-7526（直通）
ＦＡＸ：03-5253-7536

情報提供

◆ 新採用職員のための消防団体保険のご案内について

一般財団法人全国消防協会

本協会では、４月から新たに消防職員になられる皆様が、なるべく早い時期にケガや病気の保障（補償）を得られますように、募集期間を特別に設定した各種団体保険を毎年ご案内しております。

この保険は、団体割引による格安の保険料でご加入いただける全国の消防職員のための福利厚生制度です。

本年も、２０２１年２月１日付けの通知文（全消協第２０２号）にて、この保険の案内資料を**「新採用職員の皆様へ」**と記した**黄色の専用封筒**に入れて、各消防本部（局）宛に採用職員数（概数）分を送付しておりますので、新採用職員の皆様に加入をご推奨くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、各消防学校においてもこの保険の説明会を実施する予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、４月期の説明会が実施できない場合もございます。

つきましては、各消防本部（局）での採用前説明会や制服の採寸・試着時等、なるべく早い時期にこの資料をお配りいただき、４月の消防学校入校前に各消防本部（局）にて、申込書等をお取りまとめいただきますようご配慮ください。

１　今回ご案内している保険

保険名称	保険期間	申込書提出締め切り
全国消防グループ保険（生命保険） ・医療費支援制度 ・三大疾病保険 ・医療保障保険 ・プラスサポート生命保障	2021 年 6 月 1 日～2022 年 5 月 31 日 ※「全国消防グループ保険（生命保険）」に加入することによって、この４つの保障にも加入することができます。	2021 年 4 月 9 日 （各本部担当者への提出期日です。）
消防職員傷害保険	2021 年 5 月 1 日～2022 年 1 月 1 日	2021 年 4 月 6 日 （各本部担当者への提出期日です。）
消防職員医療保険		

２　各保険の主な保障（補償）内容

保険名称	主な保障（補償）内容
全国消防グループ保険（生命保険）	①　死亡・高度障害を加入コースに応じて保険金（一時金）165 万～2400 万円まで保障 ②　5 日以上のケガによる入院を１日目から保障 ③　現職中に加入すれば退職後も 80 歳まで継続が可能※ 加入コースの制限あり ④　配当金制度による保険料の払い戻しあり ＜令和元年度の配当実績＞ グループ保険：48.774％

	医療費支援制度	① 病気やケガで入院した場合に、入院日数に関わらず、１回の入院につき、入院初期費用保険金として、一時金（30,000 円）を給付 ② 入院月数に応じて１月につき、入院支援保険金として 25,000 円が給付 ※ 例えば、日帰り入院でも 30,000 円＋25,000 円＝55,000 円が給付 ③ 現職中に加入していれば退職後も 70 歳まで継続加入が可能
	医療保障保険	① ５日以上のケガと病気による入院を５日目から保障 ② 現職中に加入していれば退職後は「消防退職者医療保険（5,000 円タイプ）」に無告知で移行加入ができ、80 歳まで継続加入が可能 ③ 配当金制度による保険料の払い戻しあり ＜令和元年度の配当実績＞ 医療保障保険：44.315％
	三大疾病保険	① がん、急性心筋梗塞、脳卒中に対する一時金の生存給付を保障 ② 死亡・高度障害の際にも上記一時金と同額の給付金を保障 ③ リビングニーズ特約付き ④ 現職中に加入していれば退職後も 70 歳まで継続加入が可能
	プラスサポート 生命保障	① 死亡・高度障害の際に一時金 300 万円を保障 ② 現職中に加入していれば退職後も 70 歳まで継続加入が可能 ③ 加入時の保険料率は 70 歳まで変更なし ④ リビングニーズ特約付き
消防職員傷害保険		① ケガによる通院、入院を１日目から補償 ② ケガによる手術と死亡、後遺障害を補償 ③ 天災危険補償特約及び特定感染症危険補償特約・個人賠償責任がセット
消防職員医療保険		① ケガと病気による入院を１日目から補償 ② ケガと病気による手術、死亡を補償 ③ 先進医療に要する費用等の実費を 300 万円限度に支払補償

○ 各保険の詳細につきましては、各消防本部（局）に送付いたしましたパンフレット等または、本協会ホームページ（https://www.ffaj-shobo.or.jp/hoken/index.html）をご覧ください

○ 本件についてご不明な点等は、以下の本協会各担当までお問い合わせください。

全国消防グループ（生命）保険担当
一般財団法人全国消防協会

業 務 課　河野（かわの）・石井（いしい）（美）（み）・横山（よこやま）
電　　話　０３－３２３４－１３２１
ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ　０１２０－１１９－１４７
※土日祝日除く　9:00～17:00

損害保険担当
全国消防保険サービス株式会社

担　　当　妻神（さいがみ）・三品（みしな）・小池（こいけ）
電　　話　０３－３２３４－１３３１
ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ　０１２０－０６５－９８８
※土日祝日除く　9:00～17:00

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事
②知識・技術の伝承―教えて！消防技術―
③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報№０１１７又は機関誌「ほのお」２０１９年４号（４／２５発刊）３３ページを参照願います。
TEL：03-3234-1321　機関誌「ほのお」担当：企画課　田島
原稿データは、kikakeikaku@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

・文章は、Word で１５０文字程度（１６０文字以内）で作成をお願いします。
・写真は、Word に貼り付けず、JPEG 画像データを１枚送付してください。
TEL：03-3234-1321　機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課　田中
原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。
※添付ファイルの容量が５ＭＢを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

記事の投稿に関する注意点

・配信日（原則火曜日）に近い時期のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
・文章は、Word で２００字～４００字程度で作成をお願いします。
・写真は、１枚～２枚を Word に貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG 画像データを送付してください。）
・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。
TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課　菅原
原稿データは、weekly@fcaj.gr.jp に送信願います。